

## 今日のトピック 最近の指標から見るインド経済（2016年3月）

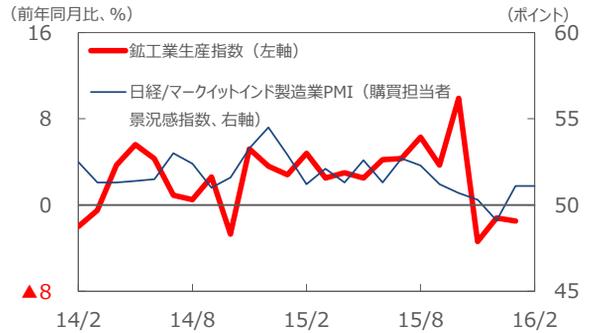
# 物価は安定、利下げによる景気下支えに期待

### ポイント1 生産減少が継続

#### 企業の景況感には明るさ

- 16年1月の鉱工業生産指数は前年同月比 ▲1.5%と、15年11月から3カ月連続でマイナスになりました。11月から12月に南部で発生した洪水による生産活動への影響が残っていると見られます。
- 生産のトレンドが見えづらい状況ですが、製造業の景況感は16年1月に持ち直して好不況の境目である50を回復し、2月も同水準となりました。インド準備銀行（RBI、中央銀行）の利下げによる景気の下支えが待たれる局面です。

【鉱工業生産指数と製造業PMI】



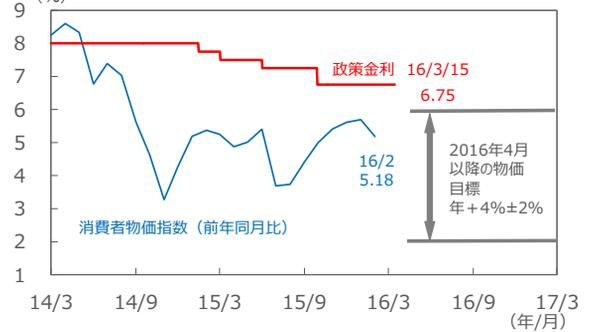
(注) 鉱工業生産指数は2014年2月～2016年1月。  
日経/マーケットインド製造業PMIは2014年2月～2016年2月。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 物価上昇率が低下

#### 4月に利下げとの観測強まる

- 16年2月の消費者物価指数は前年同月比 +5.18%と、前月の同+5.69%から低下しました。野菜など食品価格の上昇幅縮小が、主な低下要因です。物価は、景気拡大ペースが緩やかなことなどから安定しており、RBIの目標レンジ（4月以降、年+4%±2%）内で推移しそうです。
- RBIが注視するとしていた2月末発表の16年度（16年4月～17年3月）政府予算案では、従来通りの財政再建計画が確認できました。物価が安定的に推移するなか、市場ではRBIが次回4月5日の会合で利下げするとの見方が強まっています。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 政策金利は2014年3月1日～2016年3月15日。  
消費者物価指数は2014年3月～2016年2月。  
(出所) Bloomberg L.P.、インド準備銀行（RBI）のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開

## 政府の財政再建とRBIの金融緩和期待でインド市場は堅調に

- 政府は16年度の財政赤字目標をGDP比3.5%と、15年度の3.9%（見込み）から縮減する計画を維持しました。また、インフラ整備なども盛り込み、国債への信用や成長期待を高める格好となりました。
- 予算案の発表を受けてインド国債は利回りが低下し、ルピーは米ドルや円に対し堅調に推移しています。RBIが利下げを実施した場合、景気見通しの改善がインド市場の堅調な傾向を後押ししそうです。

### ここも チェック!

2016年 3月 7日 「予算案」でインド市場に期待高まる（インド）  
2016年 2月 3日 インドの金融政策（2016年2月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。